

# 令和5年度第1回唐津市有線テレビジョン放送番組審議会議事録

## 1 日時

令和5年8月29日（火） 午後2時00分～午後3時5分

## 2 場所

唐津市役所本庁 大会議室

## 3 出席した委員 11人（敬称略）

井上 美由樹、落合正利、中村 隆、牧山 奈々、吉野 猛  
八木 早織、小川 光則、井上 チナミ、前川 金行、野上 潮美、  
吉村 栄二

## 4 出席した事務局職員 4人

政策部長 濱口 智  
広聴広報課長 石崎 有希子  
広聴広報係長 谷口 正泰  
広聴広報係 居石 脩太

## 5 会議次第

別紙のとおり

## 6 議事の経過と発言者の発言要旨

別紙のとおり

発言者	内容
議事(1) 会長副会長選出	
事務局 (谷口係長)	<p>それでは、初めての委員さんもいらっしゃいますので、ここで、放送番組審議会について簡単に説明させていただきます。</p> <p>《資料 8 ページから 12 ページの概要を説明》</p> <p>次に委員の出席状況ですが、今回欠席はいらっしゃいませんので、審議会条例第 5 条第 2 項の開催要件を満たしていることを報告いたします。次に会長、副会長の選出ですが、唐津市有線テレビジョン放送番組審議会条例第 4 条の規定によりまして、委員の中から互選するようになっております。委員の皆様にお諮りいたします。会長の選出については、いかがいたしましょうか。どなたかご意見ございませんでしょうか。</p>
中村委員	事務局に一任します。
事務局 (谷口係長)	<p>事務局一任とのことですので、会長には落合正利委員を、副会長には井上美由樹委員を事務局案としてご提案申し上げます。この会長と副会長の選出案についての提案に、ご異議はございませんでしょうか。(委員「異議なし。」) ご異議がないようでございますので、会長に落合正利委員を、副会長に井上美由樹委員をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。落合会長、井上副会長、恐れ入りますが、前方のほうの会長・副会長席へ移動をお願いいたします。それでは、これからの議事につきましては、議長は会長に務めていただくことになっていきます。落合会長に一言ご挨拶をいただきまして、そのまま議事進行をお願いいたします。落合会長よろしくお願いたします。</p>
落合会長	<p>会長を仰せつかわることになりました落合でございます。仕事は唐津信用金庫の理事長をしております。よろしくお願いたします。今年は 7 月に唐津市浜玉町でもの凄く大きな災害が起きて、人命が失われるということがありしました。台風 6 号もきましたし、そういう意味では日常の色んな出来事もありますけど、行政放送の災害時の役割は大きいというのを改めて実感したところです。</p> <p>今日は DVD を事前にお配りして、それを見ての皆さんのご意見をいただきたいと思いますが、そういった災害の事等も含めて皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、それでは議長を務めさせていただきます。議事の中の 2 番、放送番組についてということで、まず事務局からご説明をお願いいたします。</p>
議事(2) 放送番組について	
事務局 (居石)	<p>《資料 3 ページから 7 ページの概要を説明》</p> <p>《審議会での主な意見に対する対応について説明》</p>
落合会長	ありがとうございます。それでは、今までの事務局からの説明、または DVD の行政放送の番組をご覧いただいて、委員の皆さんから

発言者	内容
	ご意見とかを伺いたいたいと思いますけど。感想でもいいんですけども。どなたかなにかあればお願いしたいんですけども。井上副会長どうですか。
井上副会長	普段あまり見なかったの、初めて見るような感じで見まして。ニュースと「にこにこネット」ですね。見やすい。庶民の感覚というか。それぞれ色が違うなと感じた。それと「よかところ再発見」。今回は巖木でしたけど、自分の地元が映ると嬉しいと思いました。もう少し幅広い、今回も何件か取材されたみたいですけども、もう少し沢山ないかなと思ひまして。
落合会長	牧山委員いかがですか。
牧山委員	若い方と話すときテレビを見てないという方が多くて、YouTube等が中心で、テレビをあまり見ないと感じてます。例えば、市民の皆様とコーナーを作って、可能かどうかわからないですけども、自分たちが関われば見たりするのがあるのかなと。実際私も唐津で活動していて、若いママたちとラジオ番組を作って唐津で頑張っているんですけども、自分たちがやるとなると皆さん結構積極的だし、やりたいという方が集まるので、自分が出てたら見るのかなと。夏休みは子供たちに作成を体験させるとか。そういったものがあれば皆さん見られるのかなと思ひます。
落合会長	ありがとうございます。吉村委員感想ありませんか。
吉村委員	DVD見させていただきました。よくできてると思ひます。
落合会長	信用金庫の話なんですけど、今人口減少。かなり問題となっていて、行政も色々していただけてますけど。この中の「にこにこネット」で子育て支援ですか。私は遠い昔になりましたけど、今は子育て支援って本当に、育児は手がかかります。見たのは離乳食とダンスかな。今異次元の少子化対策を国で言っていてかなりお金を使っているようですが、地方で子育てが本当に大変で、それを支援していくというような観点で作られているのかなと。非常にタイムリーな企画がおこなわれているのかなと。いい意味ではそういう感想を持ちました。皆さんは当たり前にあるかもしれないけど、最近の職員でもうちは1人パパ育休をとっている人間が出始めました。違和感がありながらも、こういうことも充実させていこうと。あの番組を見ると、少子化対策みたいな国の政策と合わせてこの企画があると。なるほどと感じたところです。他に何かご意見は？前川委員どうですか。
前川委員	私は普段おくやみしか見ないもので、なんと評価してよいものか。
事務局 (瀨口部長)	おくやみは行政放送ではなくて、ぴーぷる放送です。委員にご就任いただいたと同時にこれを機会にぜひよかったら1日1回お目通しいただけると助かります。
落合会長	井上委員はなにかありませんか？

発言者	内容
井上委員	地区の行事とかどのようにして取材に入られるのかなど。
事務局 (居石)	地区からの行事については各種団体から投げこみということで、そういったチラシを広報課にお送りいただいております、それを見て取材に行くようにしております。
井上委員	それからですね、私も含めてですけど、チャンネルからつの委員になってから気になって初めて見るんですけど、若い方がどれくらいこの番組を視聴してあるのかなど。年代層で、私の感覚では高齢の方が良く見てある感覚がするんですけど、もう少し若者にも見てもらうように何かないかなど。
事務局 (石崎課長)	それに関しては、去年広報に関するアンケートをとっております。チャンネルからつを見ていますかとの問いに7割ぐらいの方が見たことありますとの回答をいただいております、無作為には選んでいるんですけども、20代で63.6%、30代が55.8%、40代が59.2%、50代、60代、70代になるとその率が上がりまして、50代が72.5%、60代が71.0%、70代が80.2%、80代以上が69.6%になるため、見てない方は27%いらっしゃいます。 なにをきっかけ見るかという問いについては、たまにみるという方が一番多くて6割程度、災害時に初めて見るという方が25%程いらっしゃいます。
井上委員	私もたまに他の番組が面白くないときに見てみようかなという感覚になります。
事務局 (石崎課長)	まずは見ていただくことが最初だと思いますので、宣伝していきたいなと思います。
野上委員	退職して今3年目になるんですけど、子育てネットは今の子育てと昔の子育てとは結構差があります。私は娘たちがどんな子育て情報を得ているのかよく見ているんですけど、それによって離乳食とかそういう情報は見るんですけど、娘はYouTubeとか見て、情報量が違う。情報量の多さ、少なさで差が違ってくるのかなと思う。行政放送では限られた情報量しか出せないと思うんですけども、なかなか若者に対して見る機会がない。結婚してない同居している娘はほとんど見ない。データ放送はNHKのデータ放送は見られるんですけど、行政放送のデータ放送まではなかなか見ないのが現実ですね。私しょっちゅう行政放送見てたんですけど、職場を離れるとなおさら社会から閉ざされている感じがあって、最近行政放送をよく見るようになったし、天気の方も見ます。災害時に関しては常時テロップが流れ、避難所とかの開設とかも丁寧に書いてあるんでよかったかなど。高齢者とかはとても助かってあるのかなど。ただ、視聴率は先ほどの11chと比べると、少なくなるのかなど。 「よかところ再発見」も職員さんの導入の引き込まれるような最初のところや最後の去っていくところなんか、手近に職員さんが紹介していたところが良かったです。以上です。

発言者	内容
落合会長	ありがとうございます。
小川委員	<p>今皆さんたちのご意見を聞きながら、思ったことがあるんですけど。先ほど、情報をどうやってとっているのというのがありましたよね。確かに投げ込みをしてもらう。こっちの方から情報発信をしてというのではなくって、皆さんたちが外に出て取材をするような感覚でいてもらう方が良くと思うんですよね。公民館は色んな情報が集まってきます。なので定期的にはないんですけど、そこそこの公民館にそちらの方から「何かないですか？」とかいうことで情報を取りに行かれてはどうかと思います。情報が来るんじゃないかと、情報を取りに行くようなスタンスでそちらの方で番組作りしてもらったらいいのかなと思います。</p> <p>子どもネタでやると、結構私ぴーぶるに情報出したりして、自分の子が出るのが分かって初めて見るんですよね。保護者さんは。それでこういう行政放送をやっているんだよなってところで、行政放送自体をあまり知られていない。確かに見られてない人もたくさんおられると思うので、情報を取りに行く、子どもネタで、そして行政放送で放送あるから見てねと宣伝があると、お母さんたちもお父さんたちも見てくれて、それでこのチャンネルではこんな番組をやっているんだなと分かると思うんですよね。もっと知ってもらえるようにするためには、受動的ではなく能動的に皆さんの方から取材をとるか情報を取りに行くといいものがあるのかなと思います。</p> <p>僕もたまにしか行政放送を見ないです。よく行政放送見るのは災害時ですね。ライブカメラはいつもお世話になっております。家の近くに川があるので、そこでもうすぐ越水するかもしれないと。そういうのを見るためにも大変お世話になっております。</p> <p>とにかく取材を、自分たちの方からネタを取りに行くみたいな能動的な活動されるといいのかなと。</p>
事務局 (石崎課長)	<p>私たちもなるべくいろんなネットとかも見ますし、ホームページとかでも気になるキーワードやイベントの名前があったら、担当課の方に問い合わせ、どういったイベントがあるのかなとお話を持っていくこともあるんですけど、もっと地域の方に溶け込んで取材もどんどんできたらと思います。</p>
小川委員	<p>それともうひとつ。いろんな地域のことも時々流してますよね？そのとき、唐津といっても合併してから、僕鎮西町のこととかあまりわかりません。名所とかがあるときに、載っていたりしてる時もありますが、画面の下にでも地図でも載せてもらえたら、この時の花の場所に寄ってみたりできます。僕も定年してから、唐津の事をあまり知らなかったの、唐津の事を周ってるんですけど、そういう時に場所が分からない事があるんですよね。よければ、そういう地図を載せとってもらえたら行けるかなと思ってます。</p>
事務局 (石崎課長)	<p>今唐津市の風景ということで花だったり、DVDでも見ていただいたような船とか海の状況であったり。唐津市の風景については</p>

発言者	内容
	今のところ地図を下につけさせていただいてるんですけども、他のところについても、もしつけれる部分があればできればそういう対応をしたいと思います。
小川委員	よければ載せていただければありがたいなと思います。じゃあ見に行こうかとなります。
落合会長	ありがとうございます。吉野委員。
吉野委員	私もはじめてですね。実際この前までDVDをもらうまで見たことがほとんどなかったです。見てみたら結構面白かったんですけど、こういう番組もやってるってどこでPRされてるのかなと思ったんですけど。「唐津市ニュース」の巻末で何日にどういふのをやりますという風なお知らせされてるんでしょうか。どこでどうやって見たらどういふ面白いものがあるって分かるのかなと。
事務局 (石崎課長)	市報の方の裏に番組表は載ってるんですけども、特集の番組については、この週間はこういう講演会をやるってところがあるんですけども、ニュースとかになるとですね細かく分けてないので。
吉野委員	1日6回の唐津市ニュース巻末に流れているのは特集番組の宣伝をされてるんですか？
事務局 (居石)	金曜日の告知のコーナーは、特集番組とイベント情報の告知を行っております。
吉野委員	市報を見ないといけないということですね。
事務局 (石崎課長)	そうですね。テレビの方で宣伝してるような形になってるので。また、市のホームページとかでも宣伝はしてるんですけども。放送した番組、ニュースとかについてはテレビで流してると言ったんですけども、それをYouTubeの方にも上げさせていただいてます。あと子育ての番組についてもユーチューブとかにあげてはいるので、それをきっかけにテレビを見ていただけたらと思ってはいるんですけども、まだPRが足りないと思っています。
野上委員	成人式は、親がビデオにダビングしたりします。本当に見たい番組であれば録画してでも見るんですけども、行政放送はなかなか録画してまで見るなんて。録画することはあるんですけど。基本的には行政放送を録画してまで見てないのが現実かな。ゴミ出しの日とか緊急情報とか。緊急情報はもちろんぴーぷるも一緒にあるのでどちらかというとな11c hをつけてしまいます。11c hをつけてデータ放送で見る事が多いので、それをいかに行政放送を習慣づけて、データ放送で見るのかなと思いますね。高齢者は、母もそうだったんですけど、なかなかデータ放送の操作をなかなか覚えきれなくて、見てない時が結構多かったですね。データ放送の使い方が習慣づけない。私はずっと見てたのですぐデータ放送で見るんですけども。そういった手法とういふか、高齢者はわからない人が結構いるんです。

発言者	内容
落合会長	八木委員。
八木委員	今回DVDを拝見して私が興味あったのは新しいオープンしたお店。子どもと一緒に見てたんですけども、途中からどこのお店って言って、最後まで見ないとどこのお店か分からなかったの、よかったらお店の特集をされる時点で、下の方に地図と電話番号を載せていただければありがたいなと思いましたね。
事務局 (石崎課長)	そうですね。 どの時点で出すかとかもですね、工夫をしていきたいと思います。 ありがとうございます。
落合会長	他に？
中村委員	<p>行政放送はなんのためにあるのか。面白い番組とか楽しい番組とか見たい案件等はですね、実はその視聴習慣をつけてもらうために、いざというときにこの行政チャンネルがあるんだという視聴習慣をつけるためだと思うんですよね。バラエティ番組とかね。行政放送というのは住民と市役所、行政との距離をもうちょっと近づけよう。こういうことやっておりますとか、優しくわかりやすく正確に伝えるという性格があったと思うんです。これが今の民放、ぴーぷる放送も行政放送も一緒みたいな感覚でこのチャンネルを見ていらっしゃる。ここまで長いことやってきてなぜ視聴習慣がつかないか、なぜ見ないのかというのはですね、そこが混合しているということがあるんですよね。ですから唐津も令和30年、30年後くらい人口14万人が7万人になると。4万5千世帯が2万世帯になったときに、我々も高齢者になるといったときに、通信・YouTubeで自分たちの生命や財産を守ることができるのか。なかなか難しいと思います。ですから残った高齢者も、不自由な方も含めてそういう方たちの一命をとりとめる、財産をしっかり守ってもらう手段の一つとしてあるということをお忘れはいけないと思うんですよね。バラエティ番組ではなく国営放送とういうのは身近なことが自分たちの家庭、自分のことに対する情報が入ってくるということをお忘れて、楽しい番組、面白い番組をという風に走ってしまうと、本来の目的から外れて手段だけが映っていくという風に感じてもらうたら良いと思います。ですから行政も我々、我々というのは市民を含めて、行政放送は何のためにあるのかというのをそろそろ考えるときじゃないかなと思います。</p> <p>僕個人的にはここまでやってて初めて見ましたって人が多すぎる。濱口部長がどういう感覚で行政放送をこれから継続する市内も含めてですね、例えば通信側に移って行って本当に良いものかどうかというのが必ず出てくる。映像は通信で見る時代に来てるんですよ。この七山・浜玉の災害は電力と有線放送設備が倒れると何もできない。スマホなんかも絶対混雑していると。情報が入らないんですよ。こういう時にラジオや人の言葉とかそういうことが情報を入れる最後の手段になってくるんです。そういうのを身に着けて自分で</p>

発言者	内容
	<p>守るための一つの番組だという考え方を持っていただければ、もうちょっと変わっていきける。これは広聴広報課の番組制作でも変わってくると思います。命の広報を見直して、視聴率というか視聴習慣がつくというチャンネルが行政放送なんだというところになればいいんじゃないかなと思ってます。</p>
落合会長	他に何かどなたかご意見ありますか。
事務局 (濱口部長)	<p>中村委員から非常に私も相次げる考えを持つところでございます。今DXとかいう言葉が皆さんの耳に聞かれると思いますが、いわゆるインターネット系の情報提供のあり方というのが若い世代を中心に普及をしております。しかし市内ではお年寄りの方も含めてまだそこまで潤沢にそのデバイスが届いているかというところでもない世の中です。中村委員がおっしゃられたように私はまだテレビの中に全市民に同じ条件で情報を共用できるデバイスとしてはやはり今の一番はテレビでしかないという風に正直思っています。災害の話がございましたけれど、災害情報に関しましてはいろんなツールを多重化で、それこそネット、ラジオ、テレビ、いろんなものを通じて情報を流すようにしておりますが、やはり最後の砦は私個人的にはテレビに頼るところが大きいものだと思ってございます。行政放送の一つの目玉としましては、唐津市の市議会の開催の情報を数少ない有線テレビで放映してる団体でございます。それがいいというわけではございませんが、唐津市が一市六町にしたのが、平成17年に合併しました時に、同じ一つの市になったんだから、市議会とか見に行けない人も同じ情報を唐津市内のどこにいても見れるようにしようというのが当時の議論でございました。そういうことで行政放送が始まったという風に理解しております。市議会の中継もこちらに来なくても、例えば七山でも見れる、肥前でも見れる、厳木でも見れるという環境を今継続させていただいてるところであります。ただし、中村委員の言葉にすごく共感したところがあるので、行政放送がこの先どこまで存続させていかなければいけないのかというのを議論しなければいけない時期に来ていると思います。ただそれはまだ今じゃないと思ってまして、とりあえず現在は本日いろんな委員からご意見をいただきましたことをもとに視聴習慣をつけるという、そういったところも我々も汗をかいていかなければいけないんじゃないかとまた実感いたしました。今後そういった形で、頭の中に念頭におきまして我々も業務に携わっていきたいと思しました。</p>
小川委員	<p>考え方として、中村委員が言われたこともそうだよねと十分に理解します。市報があるじゃないですか。市報とそれと一緒に今度は市報の動画版という考え方で、この有線テレビ、行政放送をまたこう見直して、新しい行政放送をつくってもらえればいいのかないかなという気がしますがね。いろんなバラエティとかばかりではなくて、お知らせしなければならぬことがあると思います。市報を見て細かいことがずっとありますよね。そこを一つピックアップして、目</p>



発言者	内容
	<p>で見てテレビで見て何か伝える方法を考えていただけたらいいのかなと気がしていました。</p>
<p>事務局 (濱口部長)</p>	<p>ご意見ありがとうございます。実はですね小川委員が言われたことについて別の次元で我々考えを持っておりまして、唐津市内約 360 の行政区というのがございます。この中にいわゆる行政連絡員、行政的な区長がいらっしゃる訳でございます。ただ、ここが小さい行政区等におきましては、行政連絡員出しきれないと。その行政区としての代表の方を選出できないとそんな時期にきております。先程人口減少の話が出てまいりましたが、もっとそういう行政区が増えてくるんじゃないかと。これは人口減少だけではなく、新しくできた新興住宅地等においては、なかなかコミュニティの形成というのが我々が昔思っていたものと、対応というのが少し変わってきてます。なぜ町内会費払わないといけないかとかですね。今市報として紙をお配りさせてしておりますが、これもやがて違う形に変わっていかなければならないのかなと思っております。実は今年の 4 月からですね、唐津市の公式 LINE の中に、市報の PDF を市報と全く同じものを画面は小さいですが、見れるというものを実は載せています。ですからそれも、今おっしゃられたことも含めて色々やっていきたいと。先程申しましたように私はまだ今はテレビが第一人者のご発言をさせていただきましたが、テレビの中にも市報を入りたいと石崎課長とお話しをしたんですが、テレビの技術とインターネットの技術では、そこまで簡単にいかないところが正直ございまして。ただ市報の情報をデータ放送で市からのお知らせというタイトルでかいつまんで情報は上げております。市からのお知らせというのも、よその自治体に行けば、d ボタン広報誌とかいうタイトルをつけて、市報と同等の内容を掲載してる市もあります。ですからタイトルを変えてと広聴広報課にリクエスト出したんですけども、なかなか簡単にいかないです。中身は市報と同じことをあげてるからいいじゃないですかという風に止められたんですけど。テレビを使ってでもですね、市報と同等の内容を現在でも一部あげさせているのが現状です。</p>
<p>事務局 (石崎課長)</p>	<p>補足なんですけれども、市の広報としましては、市報・行政放送・市のホームページ、3 つが 3 点セットということで広報を流しております。なので、市報については、テレビでは文字中心となったりはするんですけれども、市報と同じような内容を流してますし、先ほど言った d ボタン押すと文字だけですけれども、情報を流しております。テレビのいいところは市報ではどうしてもタイミングがありまして月 1 回しか発行できないんですけれども、テレビは随時更新ができますので、切れ目なく情報が流せてるのかなと思ってます。</p>
<p>落合会長</p>	<p>他になにかご意見ありますか。今活発な議論ありがとうございました。他にないようですので事務局の方にお返しをいたします。</p>

発言者	内容
事務局 (谷口係長)	<p>落合会長ありがとうございました。本日はいろんなご意見をいただきました。行政放送が本来の目的であるというところで、市民の生命や財産を守るための一助だと考えております。そのためにも、年代を問わず幅広い年代の方にも認知をしていただきたいと思います。今現在SNSやインターネットで、情報入手できるような状態で、若い方はそちらが主になっていると思いますが、テレビは大体どの家庭にでもあるということで、そういった番組を意識して今後取り組みを進めていきたいと思っております。まだ高齢者の方等もいらっしゃいますので、まずはテレビで情報とれるという状態で進めていきたいと考えております。今日は色々なご意見をいただきましてありがとうございます。また検討を重ねながら前向きにやっていきたいと思っております。引き続き委員の皆様には12c hをご視聴いただき、またこれから台風のシーズンもなってきますので、災害時には周りの方にも12c hを見ていただくと避難情報や避難場所のテロップが流れていることなどをお伝えいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日は大変貴重な時間をいただきまして、誠にありがとうございました。それでは、これをもちまして令和5年度第1回の唐津市有線テレビジョン放送番組審議会を終了させていただきます。皆様ご協力ありがとうございました。</p>